

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道36号 <small>のぼりべつ</small> 登別拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道 <small>しらおい しらおい こじょうはま</small> 白老郡白老町字虎杖浜 至：北海道 <small>のぼりべつ ほんちよう</small> 登別市本町	延長	4.6 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>一般国道36号は、北海道の中核都市である札幌市を起点とし、千歳市、苫小牧市、登別市を經由し、室蘭市を終点とする延長約133kmの主要幹線道路である。当該事業は、登別市街地、白老町虎杖浜地域の交通混雑の解消による道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長約4.6kmの二次改築事業である。</p>					
H元年度事業化		S57年度都市計画決定 (S58・H元年度変更)		H元年度用地着手 H元年度工事着手	
全体事業費	約178億円	事業進捗率	70%	供用済延長	2.6km
計画交通量	19,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益	
	(事業全体) 2.0 (残事業) 3.7	(残事業)/ (事業全体) 51/170億円 (事業費：49/167億円 維持管理費：1.5/2.6億円)		(残事業)/ (事業全体) 186/339億円 (走行時間短縮便益：176/322億円 走行経費減少便益：8.0/14億円 交通事故減少便益：2.2/2.2億円)	
<p><b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=4.0 (交通量+10%) B/C=3.3 (交通量-10%)          事業費変動：B/C=3.4 (事業費+10%) B/C=4.1 (事業費-10%)          事業期間変動：B/C=3.7 (事業期間±0年)</p>					
<p><b>事業の効果等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率）</li> <li>物流効率化の支援（特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）他5項目に該当</li> </ul>					
<p><b>関係する地方公共団体等の意見</b></p> <p>室蘭市をはじめとする関係3市3町の首長及び議会議長で構成される北海道室蘭地方総合開発期成会及び苫小牧市をはじめとする1市4町の首長及び議会議長で構成される苫小牧地方総合開発期成会より早期整備の要望を受けている。</p>					
<p><b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年7月に登別マリンパークニクス、平成4年4月に登別伊達時代村が開業。</li> <li>平成18年3月に市町村合併により「伊達市」「洞爺湖町」が誕生。</li> </ul>					
<p><b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b></p> <p>平成元年度より工事着手して、現在までに延長1.9km区間を部分供用しており、用地進捗率100%、事業進捗率70%となっている。</p>					
<p><b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b></p> <p>工事が順調に進めば、平成20年代前半までに残区間延長2.7kmの4車線完成供用を図る予定である。</p>					
<p><b>施設の構造や工法の変更等</b></p> <p>現地発生材（伐根物、すき取り物）の有効活用や地盤改良工における大口径機械でのスラリー攪拌工法の採用などによりコストの縮減を図っている。</p>					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。